

会山行 No.2269-3

秋の集中、槍ヶ岳：西鎌尾根コース

◆日程 2019年9月14日(土)～16日(月)

◆メンバー L：日比野、松田、山田(留)、曲

槍ヶ岳西鎌尾根パーティーは5名の参加予定であったが、直前に今井さんが家庭の事情で参加できなくなった。しかし、そのまま食事担当分を準備してもらえたことで計画変更なく行くことができた。

今回の山行は天候に恵まれ、毎日すばらしい景色を楽しめた。鏡平の池越しに見る槍・穂高、双六小屋から見るどっしりとした鷲羽岳、西鎌尾根とその奥にそびえる槍・穂高、西鎌を登り切った時に目の前に現れた大槍子槍の大迫力。

コースタイムはだいたい予定通りに歩け、心配していたテン場も確保できた。2日間とも朝食の調理に時間のかからないものにしてくれたため、出発までの時間に余裕を持てたのも良かった。西鎌尾根は他のルートに比べると人が少なめで、ゆったりした雰囲気です。尾根歩きを楽しめた。槍ヶ岳では他のコースから登ってきたメンバーと会え、喜びを分かち合い集中登山の醍醐味も味わえた。(記：日比野)

9月14日(土) 天候：晴れ

13日の夜、全員4名無事に新宿バスタ集合、23時発の毎日アルペン号に乗車して、翌早朝5:30に新穂高温泉に到着。男子トイレ大渋滞の為6:40登山開始。緑が美しい快適な林道コースをしばらく歩くと笠新道登山口7:40通過、わさび平小屋07:55に到着。左俣林道から、わさび平小屋までのルートは高低差が殆どなく快適なルートです。

30分ほど休憩を終え8:35小池新道登山口を通過、河原沿いの道を進み、やがて石段の登りが始まる。ルートには至る所に○印や→が表示されているので分かり易い。小池新道より岩場の登りが始まると穂高連邦が顔を出します！頭上を見上げると、遥か彼方に青空にそびえる槍ヶ岳が堂々とした山容で美しい。結構高いなあ～明日はあそこまで登るのか！と思うとテンションが上がります。景観を楽しみながら登り、9:30秩父沢に到着。そのあと、チボ岩、イタドリが原、シシウドヶ原、熊のおどり場などポイント地点が続き通過、11:40鏡池に到着。天気に恵まれていたおかげかもしれませんが、言葉では表せない素晴らしい槍ヶ岳を見ることが出来ました。鏡平山荘で体調を整え、日比野さんと山田さん二人が美味しいアイスコーヒーを頂き、長い列を並んだトイレを済ませると気が付いたら、1時間程のんびり休憩となってしまった。



12:40鏡平山荘から出発、木道や木製の橋が設置されて歩きやすい。13:10弓折中段に到着。弓折岳山腹の斜面を斜めに登り続けると、14:15くろゆりベンチに到着。背丈の高いハイマツなどの緑を抜けると正面には、双六小屋が現れました。そしてそのバックには鷲羽岳・水晶岳が見えてきます。岩とハイマツのルートを進み、双六池の脇を通過して14:48双六小屋キャンプ指定地に到着。ゆったりとしたスペースが確保でき、ほっとしました。お疲れ様でした。



明るいうちに双六岳を登る為、すぐさまテントを設置し15:35テント場を後にして双六岳目指して再び登り、みるみる標高を稼ぎ、振り返ると歩いてきた尾根が足下に長く伸びている。だんだんガスが湧いてきて、周りの景色が見えなくなり、高山植物の姿も消えてしまった。

広い石場の稜線に無限大に延伸している天国に繋がる一本道です。16:25 双六岳に到着。ガスで景色が楽しめないことは残念でしたが、標高 2,860m 双六岳---二つ 6 が付いてある珍しいことで、横浜山の会 60 周年を迎え全員記念写真を撮りました。双六テント場に帰ってくるのは 17:10 です。

本日の夕飯は、お家の事情で来られなくなった今井さんが用意して頂いた豆腐鍋と雑炊です。とても美味しかった。10 時間行動して長い一日。好天気恵まれ、槍・穂高連峰を堪能でき、素晴らしい山旅になった。その分、辛い、とても辛い山歩きもした。すべてを含め、登山は素晴らしいです。(記：曲)

CT：新穂高温泉 5:25/6:40 - わさび平小屋 7:55/8:17 - シシウドヶ原
10:43/11:02 - 鏡平 11:45/12:45 - 弓折乗越 13:35/13:45 - 双六小屋
14:47/15:30 - 双六岳 16:23/16:40 - 双六小屋着 17:20

9月15日(日) 天候：晴れ

3 時起床、5 時出発。明け始めた空には十五夜を過ぎた満月が輝いていた。どっしりと構えた双六岳を背に西鎌尾根を登ると、向かう山の稜線からの御来光を拝めた。ゆるゆると登っていくと樫沢岳に着いた。振り向くと鷲羽岳が素晴らしい。ハイマツ帯の奥に隠れていた真の山頂に立つと、360° 見渡せる大絶景。槍ヶ岳に穂高連峰はもちろん、遠くは白山まで見えた。

ここからは前方に常に槍ヶ岳をとらえて歩く。足元には夏の花の名残りに秋の花、秋風が少し冷たい。後方には前日歩いた小池新道の稜線に鏡平小屋の赤い屋根と眺望の良い最高の稜線歩き。アップダウンもそれほどきつくない。硫黄乗越を過ぎると、東側に荒々しい山肌の硫黄岳が見え、硫黄の匂いもする。左俣乗越に着く。休憩していると北鎌尾根から槍ヶ岳を下ってきた U/L 単独ハイカーに「昨日は少なかったけど、今日は 70 人くらい北鎌尾根を登っている」と話を聞き、北鎌チームに思いをはせた。場所は違えど同じ山頂を目指している仲間を思いながら歩く、不思議な気持ちに元気が湧いてきた。この先は鎖場が現れ、ザレ場をトラバースするが、他のルートに比べれば易しい(と思う)。この辺りから小槍も見えてくる。千丈乗越に着いた。これまでも前後やすれ違いの人々が少しはいたが、槍へ向かう人が増えてきた。南に飛騨乗越へ上がるジグザグ斜面が見え、あそこを登るのも下るのも嫌だな、西山さんはすごいな、と思いながら槍ヶ岳山荘のテント場の状況が気になり、少しでも早く登りたい。ザックが重い、そして暑い。



最後の急な登りに入り、山頂は見えているのになかなか登れない。山頂直下のジグザグ斜面に心が折れそうになる。槍の穂先を眺め、「あそこに立つんだ」と自分に喝を入れて頑張る。そして槍ヶ岳の肩にたどり着いた。穂先には人が多く渋滞している。そして小屋へ受付を急ぐ。幸いテント場をゲットし、そこで満席となった。セーフ！

テントを張り、お腹を満たして支度をする。近くに北鎌チームのテントを見つけてホッとした。いよいよ槍の穂先にアタック。渋滞の列は伸びて日差しが強い中、辛抱して待った。行列が岩峰の裏側に回ると北鎌尾根が見え、「今どこかな。山頂で北鎌チームに逢えたらすごいね」なんて話していた。また表側に戻ると、眼下に大キレットチームを見つけ、嬉しくて手を振った。ここで一時間経過。先はまだ長い。それでも少しずつ列が進むと最初の梯子が近づいてきた。登っては待機、よじ登っては待機を繰り返し、念願の槍ヶ岳山頂に立った。初めての頂きに感動！途中からガスが湧いてきて視界はほぼ真っ白だったけど、雲海に映る穂先の影がブロッケンになったり、今までにない達成感を味わった。西鎌チームで記念撮影し、名残惜しくも



下山した。槍ヶ岳初登頂の3人を引き連れてのサポート、日比野さんありがとうございました。

あんなに混雑していた上りルートに対し下りは空いていた。途中で大キレットチームと再会し、肩に戻ると西山さんが笑顔で出迎えてくれて嬉しかった。

テントに戻る途中、南東の斜面にブロッケン現象を初めて見る事ができた。夕焼けも美しく、地球の影もくっきり見え、雲海も芸術的。夜は赤い月が昇り、星空もきれいで、大自然の素晴らしさを思う存分味わった。

闇夜の穂先にヘッドランプの列を見ながら槍ヶ岳山荘に遊びに行き、明日はさらに早出のため早く寝た。夜は風が強く、風音と北鎌チームのことも気になりなかなか寝付けなかった。
(記：山田)

CT：双六小屋 5:00 - 硫黄乗越 6:40 - 千丈乗越 9:10 - 槍ヶ岳の肩 10:50/12:30 - 山頂 15:15 - 槍の肩 16:00

9月16日(月) 天候：曇り時々晴れ

3日目は上高地に下る。上高地は3連休で大混雑が予想されたので、バスのチケットを必ずゲットするため、2時半に起床し4時半に槍ヶ岳テント場を発った。

まだ辺りが暗い中、ヘッドランプを点けてガレ場をしばらく下る。慣れない暗闇歩行は転ばないように慎重に歩を進める。明るくなり始めると、紅葉間近の槍沢の美しい景色が楽しめた。

下りが終わり平坦な道になると、3日間の旅の緊張感からようやく解放されホッとした。徳澤園では長旅のご褒美にコーヒーストを食べた。ほろ苦いアイスコーヒーにソフトクリームが乗って500円というお得な一品だった。

出発から8時間半後、上高地に到着。無事にバスのチケットを入手することができ安堵。後は温泉に入るだけだったが、ここで問題が発生する。目的の温泉が入場制限をしていて、30分以上も待つとのこと。ほかの温泉に行く時間的余裕はもう無い。上高地のインフォメーションセンターにコインシャワーがあると聞き、急いでバスセンターに戻る。だがコインシャワーは男女2つずつしかなく、思いのほか待たされ、一人コイン2枚分6分間の入浴になってしまった。ここにきて温泉難民になるとは予想外だった。松本駅では時間がたっぷりあったので、美味しいそばと天ぷらとビールをゆっくりと味わった。



今回初めて3日間にわたる山行に参加した。夏が戻ってきたような暑さの中、重いザックを背負って長い距離を歩き、正直ものすごくキツかったが、憧れだった槍ヶ岳に西鎌尾根という素晴らしいルートから登頂できたことは、一生の思い出となった。
(記：松田)

CT：槍ヶ岳山荘 4:30 - 槍沢キャンプ地 7:25 - 横尾 9:40 - 徳澤園 10:40 - 明神館 11:57 - 上高地バスターミナル 12:55